

保証書

本保証書は、販売店の記入および販売店印のあるもので、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

品名	18V 充電式 ドリル&ドライバー	型式	KMCD-1830
		JAN コード	4580607 620123
保証期間	お買い上げ日より6ヶ月		
お買い上げ日	年 月 日		
販売店			

※保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参の上お買い上げの販売店にご依頼下さい。

※保証書の再発行はできません。

※保証期間内でも次の場合には有料となります。

- (イ) 使用上の誤り及びご自身による修理や改造による故障及び損傷。
- (ロ) お買い上げ後の落下等による故障及び損傷。
- (ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他天災地変・異常電圧による故障及び損傷。
- (ニ) 一般家庭以外（例えば、業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
- (ホ) 本書の提示がない場合。
- (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字を書き換えられた場合。

輸入元 **青鳥商事株式会社**

〒567-0825 大阪府茨木市園田町 8-18 4F

TEL: 072-648-5811

FAX: 072-648-5822

MADE IN CHINA

- 製品には万全を期しておりますが、万一品質に不都合がありましたら、お求め年月日・店名をご記入の上現品を当社宛てにお送り下さい。
- 仕様その他は改良のため、予告なく変更する事がありますのでご了承下さい。

KINGMAX

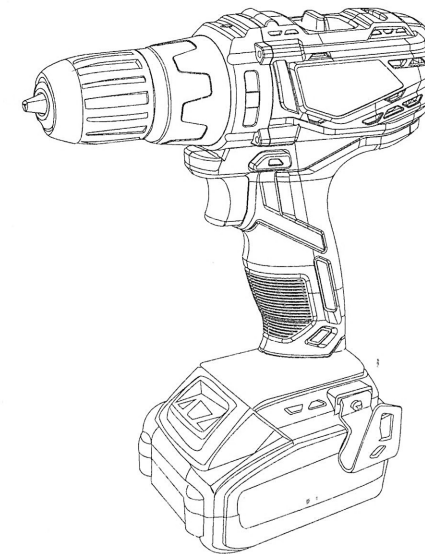
18V 充電式

ドリル&ドライバー

家庭用電動工具

KMCD-1830

取扱説明書



この度は「18V 充電式 ドリル&ドライバー KMCD-1830」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。

お読みになった後は使用者がいつでも取り出して確認できるよう大切に保管をしておいてください。

本品はDIY商品として開発された商品です。一般家庭用としてご使用ください。

ご使用上の注意

本製品を正しく安全にお使い頂き、ご自身や周囲の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「警告」・「注意」・「注」の表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



注

本製品や付属品の取扱い等に関する重要な注意事項

充電工具を安全にお使いいただくために

※本項目は共通項目ですので、製品により内容が一致しない場合があります。

※本文中の「充電器」は「充電アダプター」を、「バッテリー」は「内蔵バッテリー」を含みます。



警告

- 作業場はいつも整理・整頓し、きれいに保ってください。また、作業の妨げになるような物は取り除いてください。
- 揮発性可燃物（ガソリン・シンナー・塗料・接着剤など）、揮発性ガス・引火性ガス（アセチレン・プロパンガス）のない場所で使用してください。（爆発・火災の原因になります。）
- 濡れた所や湿気の多い所、雨中では使用しないでください。（感電、故障の原因になります。）
- 作業場所に関係者以外は近づけないでください。特に小さなお子様は作業場や本製品に近づけないでください。
- 専用の充電器やバッテリーを使用してください。
 - 指定以外の充電器でバッテリーを充電しないでください。非再充電形バッテリーは絶対に再充電しないでください。
 - 指定したバッテリー以外は専用充電器で充電しないでください。（火災・破裂の原因）
- 正しく充電してください。
 - 充電器は必ず家庭用 AC100V 50/60Hz 電源で使用してください。発電機やインバータ電源・DC 電源・仮設電源での使用はしないでください。
 - 取扱説明書に記載された充電温度範囲外で充電しないでください。（火災・破裂の原因）
 - 直射日光下・高温多湿な場所・雨中・粉じん・ごみ等が多い場所・異常な振動又は衝撃が発生する場所では充電しないでください。
 - 換気の良い場所で充電してください。
 - 充電中に充電器・バッテリーを布などで覆わないでください。（火災・破裂の原因）
 - 充電するときは充電器とバッテリーの⊕⊖の方向を間違えずに取り付けてください。（火災・故障の原因）
 - 使用しない場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。（火災・感電の原因）
 - 充電中「焦げ臭い」・「煙が出る」等の不具合が発生しましたら、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて充電器の使用を中止し、お買上げの販売店にお申しつけください。

ご使用上の注意



警告

7. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。

- バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡して発熱、発火、破裂の恐れがあります。

8. バッテリー・充電器を火中・水中に入れないでください。（破裂・けがの原因）

9. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。

- 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

10. 使用できる時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

11. 作業に適した服装で作業してください。ネクタイ・ネックレス・手袋・袖口の開いた服装は可動部に巻き込まれる恐れがあり危険です。

12. 作業の時は、必ず保護メガネを着けてください。作業環境によっては、保護マスク・保護帽・耳栓・安全靴をご使用ください。

13. 防音保護具を着けてください。

- 騒音の大きい作業の時は、耳栓、イヤークッションなどの防音保護具を着けてください。

14. 製品にご使用前に損傷がないか確認してください。

- 本製品開封後は梱包内容を確認し、輸送による破損・ゆがみ・ひび割れ等の異常がないことを確認してからお使いください。（事故や怪我の原因になります。）

- ご使用前には必ず試運転を行い、製品の破損・ゆがみ・ひび割れ・異常音・異常振動などが無いことを確認してからお使いください。（事故や怪我の原因になります。）

15. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外の物は使用しないでください。また、取扱説明書に従って正しく取り付けてください。（部品脱落や故障によるけがの原因）

16. 調整や点検に用いた工具は必ず取り外してください。

- 使用する前に、調整・取付けに用いた工具が取り外されていることを確認してください。

17. 作業に合った充電工具を使用してください。

- 小型の充電工具やアタッチメントは大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

18. 無理な使用をしないでください。

- 安全に能率良く作業するため、充電工具の能力に合わせて作業してください。
- 足元の不安定な場所や無理な姿勢で使用しないでください。

19. 感電に注意してください。

- 濡れた手での取扱いや充電器の電源プラグの抜き差しはしないでください。（感電の原因）

20. 通気孔をふさがないでください。

- 通気孔は本体や充電器を冷やすために必要ですので、布などで覆ってふさがないでください。（火災・故障の原因）

ご使用上の注意

⚠ 警告

21. 充電器などのコードの取扱いに注意してください。

- 使用する前に、必ず充電器の電源コード・電源プラグを点検してください。無理に引っ張ったり挟んだりしないでください。また、コードを高熱の物・油や角のつがった場所に近づけないでください。(火災・感電・故障の原因) 破損したときはお買上げの販売店に修理を依頼してください。
- コンセントから充電器の電源プラグを抜き差しするときは、必ず電源プラグやアダプターを持って抜き差ししてください。(火災・故障の原因)
- 作業員以外は本製品やコードに触れさせないでください。
- 感電防止のため、漏電遮断器を設置することをお勧めします。

22. 不意な始動はさけてください。

- 充電工具を移動する場合や付属品を交換するときは、スイッチに指をかけないでください。(けがの原因)

23. 材料側を動かして加工する場合を除き、加工物はしっかりと固定してください。

- 加工物・対象物は必要に応じてクランプや万力等で固定してください。手で加工物を保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。

24. 本体作動部には触れないでください。

- 作動中回転部やその付近に手や身体、顔を近づけないでください。(けがの原因)

25. 油断せず、十分注意して使用してください。

- 本製品を使用する場合は、取扱方法・作業の仕方・周りの状況等に十分注意して慎重に使用してください。
- 疲れていたり、体調のすぐれないときは使用しないでください。
- 長時間の連続作業は疲労による事故の原因となります。

26. やけどに注意してください。

- 使用直後は、本体(モーター)や加工物が熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないようにしてください。

27. 定期的に点検してください。

- 充電器の電源プラグや充電工具本体・充電器の通気孔にほこりや粉じん等が付着している場合には、よく取り除いてください。(火災・故障の原因)

28. 使用しないときはきちんと保管してください。

- 使用しないときは、直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した場所で、お子様の手の届かない安全な場所や、鍵のかかる場所にきちんと保管してください。
- 充電工具本体やバッテリーを、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所(使用中の暖房器具の付近・車中・直射日光下)に保管しないでください。

29. 分解・改造をしないでください。

- 本製品にはいかなる改造も加えないでください。

30. ご自身で修理しないでください。

- 故障・異常時は直ちにスイッチを切って本製品の使用を中止し、お買上げの販売店にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると事故や怪我の原因となります。

ご使用上の注意

⚠ 注意

1. 延長コードを使用する場合。

- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- 使用する延長コードの取扱説明書・注意事項等をよく読み、正しく使用してください。

2. 作業後の加工物に注意してください。

- 作業直後の加工物は熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないでください。(やけどの原因)
- 作業後の加工物には、かえりができていることがありますので注意してください。(けがの原因)

3. こまめに手入れしてください。

- 本製品は定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店に修理をお申し付けください。
- 本製品に油やグリースが付着した場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
- ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジン等は使用しないでください。(故障・破損の原因)

4. その他

- 火のそばや閉め切った車内・直射日光の当たる場所・高温になる場所には、放置・保管しないでください。変形・変色・劣化のおそれがあります。

騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、遮音壁を設けて作業してください。

本製品のご使用上の注意

⚠ 警告

1. バッテリーパックの充電は温度が 10 ～ 35℃の範囲で行ってください。
●範囲外の温度で充電すると、破裂・火災の原因となります。
2. 指定の先端工具・バッテリーパック・充電器以外は使用しないでください。
(事故・故障の原因)
3. 使用する先端工具の使用・注意事項をよく読み、その指示を守って安全に作業してください。
4. 作業前に必ず埋設物がないことを十分に確認してください。
●作業中、埋設物（電線管・水道管・ガス管等）への接触による感電及び、穴あけによる水漏れ・ガス漏れ等のおそれがあります。
5. 加工する対象物の中に異物（釘や鉄筋等）がないことを十分に確認してください。
●加工中、異物に先端工具が触れると破損するだけでなく、強い反発力が生じけがの原因となります。
6. 使用中は、本体を確実に保持してください。
●ねじ締め開始・終了直前に強い反発力が生じます。また、穴あけ作業中は本体が振り回されることがありますので、確実に保持していないとけがの原因となります。
7. あまりにも小さな物のねじ締め・穴あけは危険です。しないでください。また、加工する物はクランプ・万力等でしっかりと固定してください。
●不安定なまま作業するとけがの原因となります。
8. 先端工具を交換する場合や持ち運ぶとき等作動すると危険な場合は回転方向切替スイッチを中央にしてください。
9. 回転中の先端工具や切りくずの排出部は危険ですので、絶対に触れないでください。
10. 取扱説明書に記載されている用途、又は能力以上の作業には使用しないでください。特にモーターをロックさせるなど、無理な使用をしないでください。
●無理にこじったり、インパクトをかけ続けると故障の原因となります。
●本製品は金属・石材・コンクリート・タイルの穴あけには使用できません。ドリル刃や加工物が破損するおそれがあります。
11. 作動すると危険な場合は、バッテリーパックを取り外してください。
12. バッテリーパックは発煙・発火・破裂のおそれがあります。次のことを守ってください。
●端子に金属を接触させないでください。
●釘や硬貨等が入った袋や箱の中に入れないでください。
●釘を差したり、強い衝撃を与えないでください。
●雨や水に濡らさないでください。
13. 火災のおそれがあります。次のことを守ってください。
●段ボールなどの紙類・座布団等の布類・畳・カーペット・ビニール袋等の上では充電しないでください。

本製品のご使用上の注意

⚠ 警告

- 充電器の通気孔を充電中にふさがないでください。また、通気孔に金属類・燃えやすい物を差し込まないでください。
 - 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
14. 充電器のバッテリーパック差込口には充電用端子があります。金属片・木等の異物や水を入れないでください。
 15. 充電器・バッテリーパック内部に水が入ってしまった場合は、絶対に使用しないでください。(事故・故障の原因)
 16. 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

⚠ 注意

1. 本製品は DIY 用です。建築作業など精度が必要な作業には使用しないでください。
2. 先端工具や付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
3. ねじに合った先端工具を使用してください。
●使用する先端工具がねじに合った物でない場合、ねじをいためる原因となります。
4. ねじ締め終了直前に強い力が働きます。ドライバービットの先端は、ねじ頭の溝に完全に差し込んだ状態で使用してください。
5. キーレスチャックの開閉は、必ず手で行ってください。スイッチ引き金を引き、回転を利用して開閉すると、チャックのツメがロックされる場合があります。
6. モーターの回転中に、回転方向切替スイッチを操作しないでください。
●無理に回転方向を切り替えようとすると、モーターに負担がかかり故障の原因となります。
7. 低速回転でモーターが停止するような作業を連続して行うと故障の原因となります。
8. 回転部に切りくずやごみ等が入らないように注意してください。入った場合は逆さにするなどしてごみを取り除いてください。
9. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。
10. フル充電状態のバッテリーパックを再充電しないでください。
11. 充電器及びバッテリーパックが熱を持ったままでは正常に充電できません。
●充電する前に、必ずバッテリーパック・充電器が十分冷めていることを確認してください。
●1 台の充電器で複数の充電を続けて行う場合、必ず 15 分以上間隔をあけてください。
●使用直後のバッテリーパックは過熱状態になっていますので、充電する前に必ず十分な冷却時間を設けてください。
12. バッテリーパックの連続使用は 2 個までにしてください。(故障の原因)
●連続使用の場合は本体を十分に冷ましてください。
13. 本体は 5 ～ 40℃で使用してください。

本製品のご使用上の注意

⚠ 注意

14. 取扱説明書に記載されている最大トルクを超える作業（タイヤ交換など）には使用しないでください。
15. 本製品はしいたけビットなど特殊な先端工具には使用しないでください。（故障の原因）

注

1. モーターの始動・停止及び回転中に本体の通気孔から火花が見えることがありますが、故障ではありません。
2. 充電器・バッテリーパックについて
 - 充電中、充電器やバッテリーパックはある程度熱を持ちますが、故障ではありません。
 - 新品の状態や長期間充電されていなかったバッテリーパックは電池容量が低下し本来の能力を発揮できない場合があります。この場合、2～3回充放電を繰り返すと電池容量が回復します。
3. 締付時間・締付トルクについて
 - 小さいトルクしか必要としないねじなどに大きなトルクをかけると、ねじ頭の溝が破損するおそれがありますので、注意してください。
 - 締め付けトルクはバッテリーの充電状態により変化します。バッテリーの残量が少なくなると、急激に締め付けトルクが低下します。

用途

- ねじ・ボルト・ナット等の締め付け・ゆるめに
- 木材・樹脂・軟鉄板等の穴あけに

能力

フル充電1回あたりの作業量目安(周囲温度20℃)

	ねじ・ドリル寸法	速度	材 料	数
ねじ締め	木ねじ $\varnothing 4.1 \times 38\text{mm}$	高速	米松	約380本
	木ねじ $\varnothing 4.1 \times 38\text{mm}$	低速	米松	約400本
穴 あ け	木工ドリル刃 $\varnothing 10\text{mm}$	高速	米松(厚み40mm)	約200孔
	木工ドリル刃 $\varnothing 15\text{mm}$	低速	米松(厚み40mm)	約100孔
	鉄工ドリル刃 $\varnothing 5\text{mm}$	高速	冷間圧延鋼板(厚み1.6mm)	約180孔
	鉄工ドリル刃 $\varnothing 10\text{mm}$	低速	冷間圧延鋼板(厚み1.6mm)	約60孔

※数値は目安ですので、使用状況により異なります。また、締付本数は締付時間が長くなるほど少なくなり、短くなると増えます。

仕様

本体 (KMCD-1830)

モーター電圧	DC 18V
無負荷回転数	約0～400/0～1,400 min ⁻¹
最大トルク	約25N・m
クラッチ数	19段(最小1～最大19)
穴あけ能力	木工: $\varnothing 15\text{mm}$ / 鉄工: $\varnothing 10\text{mm}$
チャック能力	$\varnothing 0.8 \sim 10\text{mm}$
本体サイズ	約長さ200×幅80×高さ250(mm)
質 量	約1.6kg(バッテリーパック含む)

充電器 (KMBC-1824)

電 圧	AC100V
周 波 数	50/60Hz
充電時間	約90分※1
出力電圧	DC 18V
コード長	約1.8m

バッテリーパック (KMBP-1830)

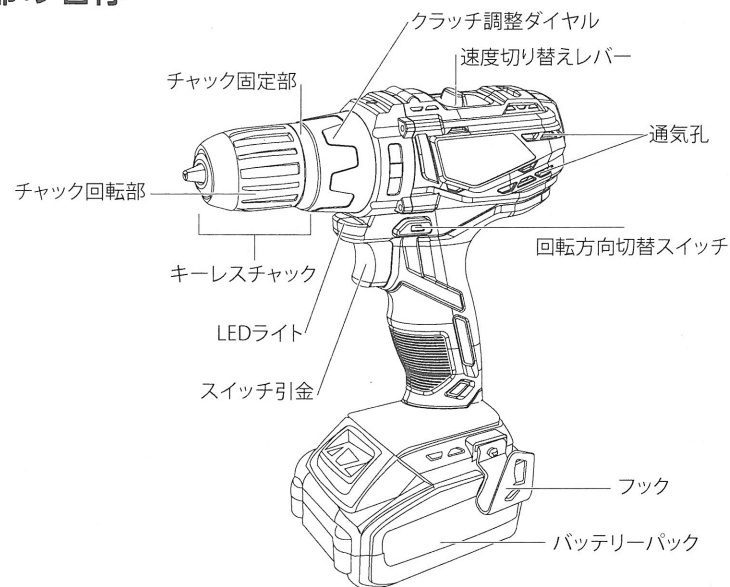
電池種類	リチウムイオン電池
電 圧	18V
容 量	3.0Ah

※本製品は専用バッテリーパック(KMBP-1830)以外使用できません。

※製品改良のため仕様・外観は予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

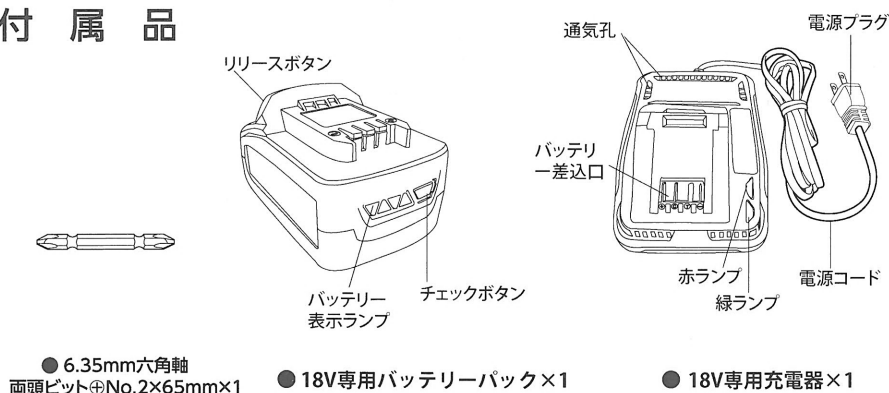
※1 気温・バッテリーパック残量によって充電時間が変化します。

各部の名称



ドリル&ドライバー本体×1

付属品



使用前の準備

● 充電方法



警告

1. 必ずこの取扱説明書を全てお読みになり、正しくお使いください。
2. 必ず専用の充電器・バッテリーパックを使用してください。また、充電器の使用電源は必ず銘板に表示してある電圧(家庭用AC100V)で使用してください。
3. 充電器の電源コードは無理な力・熱・油等で損傷することがないように注意してください。
4. 温度が10℃未満、又は36℃以上ではバッテリーを充電しないでください。



注

1. お買上げ時は、バッテリーパックは十分に充電されていない場合があります。ご使用前に充電器で正しく充電してから使用してください。
2. バッテリーパックと充電器の端子部分にごみづまりがある場合は、取り除いてください。
3. 充電時間は周囲温度やバッテリーパックの状態により変動します。
4. 新品や長期間充電されなかったバッテリーパックは、電池容量が低下し、本来の能力を発揮できない場合があります。この場合は2～3回充放電を繰り返すと電池容量が回復します。
5. 使用直後のバッテリーパックは熱を持っているため充電することができません。必ず1時間以上冷ましてから充電してください。
6. フル充電状態のバッテリーパックを再充電しないでください。

● バッテリーパックの取付け・取り外し



注意

- バッテリーパックの取付け・取り外しをするときは、P16を参照して、回転方向切替スイッチを中央の固定位置に合わせてください。

● 取付け

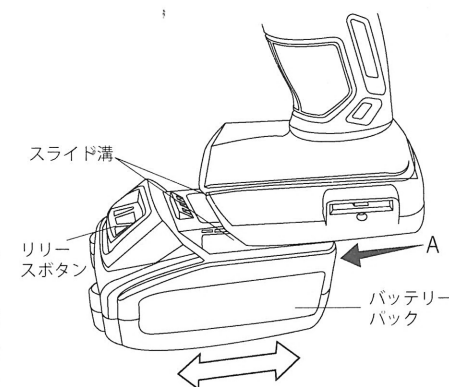
本体とバッテリーパックのスライド溝をきちんと合わせて、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

※バッテリーパックがしっかり固定されていることを確認してから使用してください。

● 取り外し

バッテリーパックのリリースボタンを押して、スライドさせて取り外してください。

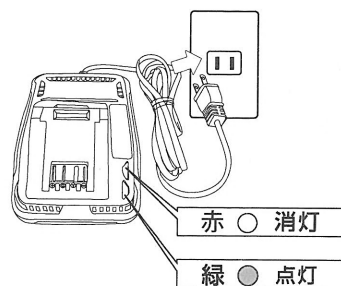
※バッテリーパックが取り外しづらいときは、本体をしっかり持ち、バッテリーパックの側面(右図A面)を押しながら、バッテリーパックのリリースボタンを押してスライドさせてください。



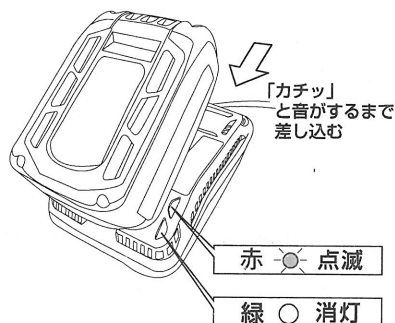
使用前の準備

● 充電方法

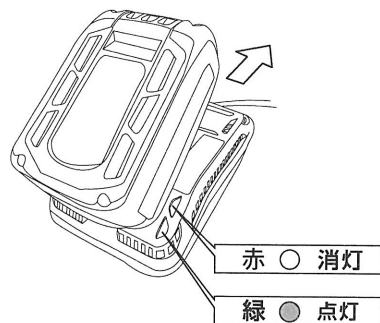
1. 充電器の電源プラグをコンセントに差し込んでください。緑ランプが点灯することを確認してください。



2. 本体への取り付けと同じ要領で、バッテリーパックを充電器の差込口に奥までしっかりと差し込んでください。充電が始まると、緑ランプが消灯して、赤ランプが点滅します。

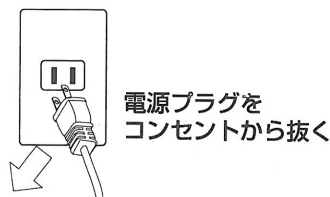


3. 約 90 分間で充電が完了すると、緑ランプが点灯して、赤ランプが消灯します。充電が完了したら、リリースボタンを押してスライドさせてバッテリーパックを充電器から取り外してください。



※充電完了時と充電器が通電している間は緑ランプが常時点灯しています。

4. 充電が完了したら、必ず充電器の電源プラグをコンセントから抜いて、風通しの良い場所で十分に熱を冷ましてください。



使用前の準備

● 充電器のランプ表示について

点滅状態	状態
赤 ○ 消灯 緑 ● 点灯	通電中 ※点灯しない場合は故障の恐れがあります。
赤 ● 点滅 緑 ○ 消灯	充電中
赤 ○ 消灯 緑 ● 点灯	充電完了
赤 ● 点灯 緑 ● 点灯	バッテリーパックの温度が高い ※使用直後のバッテリーパックは熱を持っているため、充電することができません。
赤 ● 点灯 緑 ○ 消灯	充電異常 ※バッテリーパック故障の恐れがあります。

⚠ 注意

1. バッテリーパックが熱を持っていると、充電できません。室温が 25℃以下の風通しの良い場所で 1 時間以上冷ましてください。
2. バッテリーパック内部の温度が下がらないと充電が開始されません。
3. 充電時間が規定時間（約 90 分間）に大きく満たない時間で終了してしまう場合、充電異常になっていた恐れがあります。バッテリーパックや充電器を十分に冷ましたうえで再度充電を行ってください。それでもフル充電出来ない場合は、バッテリーパックもしくは充電器の故障が考えられます。
4. 充電時間が 1 時間を著しく超えても、充電が完了しない場合はバッテリーパックもしくは充電器の故障が考えられます。ただちに使用を中止してください。
5. 充電異常が復旧しない場合または、バッテリーパックおよび充電器の故障が考えられる場合は、ただちに充電器の電源プラグをコンセントから抜き、使用を中止して、お買い上げの販売店にお申しつけください。

使用前の準備

●バッテリー残容量表示機能

チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を緑ランプで表示します。

バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
▲点灯 ▲消灯	
▼▲▼▲	75% - 100%
▼▲▼▲	50% - 75%
▼▲▼▲	25% - 50%
▼▲▼▲	0% - 25% 充電してください

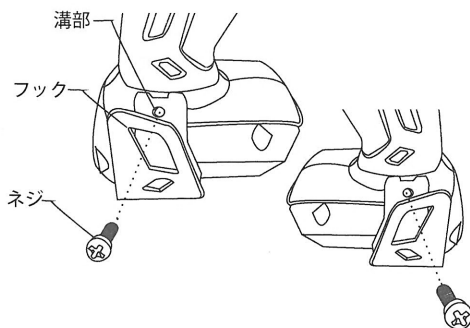


●表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。

●フックの取り付け・取りはずし方

1. 取り付けるときは、本機の溝部にフックを差し込んだ後、ネジで固定します。左右どちら側にも取り付け可能です。

2. 取りはずすときは、ネジをゆるめてからフックをはずします。



フックを取り付ける際は、ネジを十分に締め付けてください。ネジの締め付けが不十分ですと、フックがはずれ、事故の原因になります。

先端工具の取付け・取り外し



警告

1. 先端工具の取付け・取り外しのときは、バッテリーパックを取り外してください。
2. 作業中・作業直後の先端工具や加工物・切りくず等は非常に熱くなっています。冷えるまで直接手肌に触れないでください。(やけどの原因)



注意

1. 先端工具は取扱説明書に従って確実にに取り付けてください。
2. キーレスチャックの開閉は、必ず手で行ってください。スイッチを入れ、回転を利用して開閉するとチャックのツメがロックされる場合がありますので絶対にしないでください。

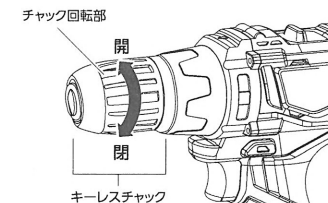


先端が右図のようになっているときは、チャックのツメが開ききっています。「閉」の方向に回してください。



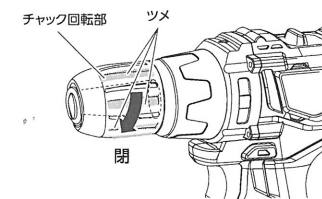
●取付け方

1. チャック回転部を矢印の「開」の方向に回して、チャックのツメを開きます。



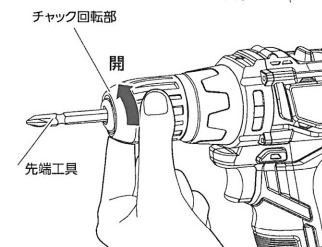
2. 先端工具を3本のツメの中央に入れ、チャック回転部を矢印の「閉」の方向に回して、チャックのツメを閉じて先端工具を締め付けてください。

※チャック回転部を「開」の方向に回すことができない場合は、チャックのツメが開ききっています。「閉」の方向に回してください。



●取り外し方

チャック回転部を矢印の「開」の方向に回して、チャックのツメを開いて先端工具を抜き取ってください。



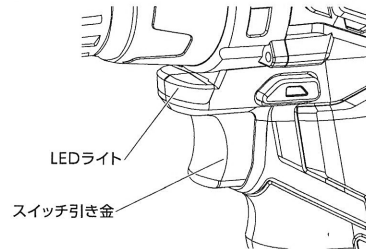
操作方法

● スイッチ引き金の操作・LEDライト

⚠ 注意

1. 点灯中のLEDライトを長時間近くで見続けしないでください。目をいためるおそれがあります。
2. LEDライトのみを点灯させた状態で使用しないでください。(故障の原因)

スイッチ引き金を引くと回転し、LEDライトが点灯します。スイッチ引き金を戻すと回転が止まり、LEDライトが消灯します。また、スイッチ引き金の引き具合により回転数を調整できます。



スイッチ引き金を引くと回転し、LEDライトが点灯

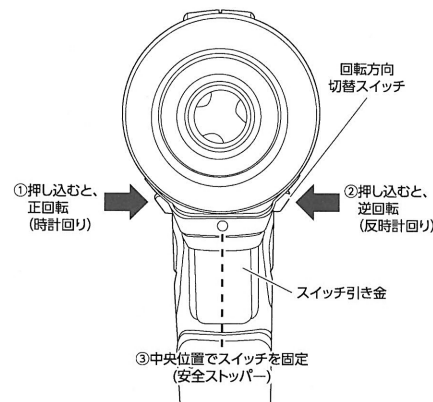
● 回転方向の切り替え

⚠ 注意

1. 回転方向の切り替えは、モーターの回転が完全に停止した状態で行ってください
2. 回転方向を切り替えるときは、回転方向切替スイッチを完全に押し切ってください。

1. 回転方向切替スイッチを押し込むことで、回転方向の切り替えができます。

2. また、回転方向切替スイッチを中央位置にすることで、安全ストッパーが働きスイッチ引き金を固定することができます。



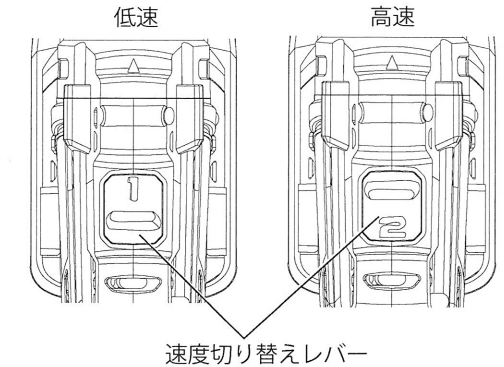
操作方法

● 切り替え方法

回転速度の切り替え

「速度切り替えレバー」をスライドさせ、「1」の表示で低速、「2」の表示で高速になります。

ご使用前に「速度切り替えレバー」が正しい位置になっていることを確認してください。



表示されている数字	回転速度	締め付け力	適正作業
1	遅い	強い	負荷の高い作業
2	速い	弱い	負荷の低い作業

注

1. 速度切り替えレバーは正しい位置にセットしてください。1側と2側の間の位置で使用するとう故障の原因となります。
2. 速度の切り替えは、モーターの回転が停止した状態で行ってください。回転中に切り替えますと故障の原因になります。
3. 回転速度“2”で作業中に回転が著しく低下する場合は、作業を中断して回転が停止した後で回転速度“1”に切り替えてください。そのまま使用を続けた場合、モーターの焼損の恐れがあります。”

操作方法

● クラッチの調整

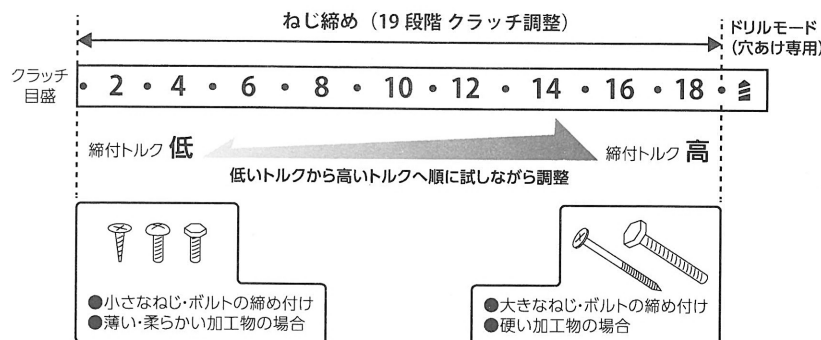
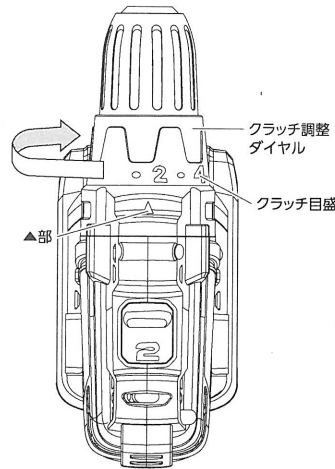
⚠ 注意

クラッチ調整ダイヤルは、カチッと音がするまで完全に切り替えてください。切り替えが完全でない場合、故障の原因となります。

注

1. 薄い・柔らかい天井材・接続端子のねじ締め等で、ねじ頭の溝やねじ山をいためるおそれがある場合には、必ず低いトルクから順に試しながら適切なトルクになるよう調整していきましょう。
2. 木材・プラスチック等へのねじ締めで締付トルクを高めに調整しているときは、条件(相手材の硬さなど)によってはクラッチが作動しない場合があります。この場合、強い反発力が生じますので、確実に本体を保持してください。

1. 本製品はねじを締め付けるトルクを 19 段階に調整することができます。設定以上のトルクがかかると、クラッチ機構が働きカラ回りして、締め付け過ぎやねじの破損を防ぎます。
2. クラッチ調整ダイヤルを回転させ、本体上部の▲部にクラッチ目盛を合わせてください。トルクは、・2・4～18・の順に強くなります。低いトルクから順に試しながら高いトルクに調整していき、作業に応じたトルクに調整してください。
3. 穴あけ作業の場合は、クラッチ目盛をドリルマーク()位置に合わせてください。ドリルマーク()位置の場合、クラッチは作動しません。



作業方法

⚠ 警告

1. 作業中は、本体を確実に保持してください。作業中は本体が振り回されることがありますので、確実に保持していないとけがの原因となります。
2. 作業中・作業直後の先端工具や本体・加工物・切りくず等は非常に熱くなっています。冷えるまで直接手肌に触れないでください。(やけどの原因)

⚠ 注意

1. モーターをロックさせるなどの無理な使用はしないでください。
2. 本体は5～40℃で使用してください。
3. バッテリーパックの連続使用は2個までにしてください。また、連続使用する場合は本体を十分に冷ましてください。(やけど・故障の原因)
4. 低速回転でモーターが停止するような作業を連続して行うと故障の原因となります。

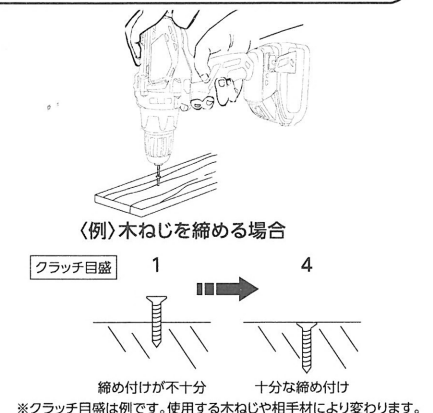
● ねじ締め

⚠ 注意

1. ビットの先端は、ねじ頭の溝に完全に差し込んだ状態で使用してください。
2. 締め付けるねじに対して本体をまっすぐに保持してください。本体がねじに対して斜めになっていると、ねじ頭の溝をいためることがあります。
3. ねじに合ったビットを使用してください。使用するビットがねじに合った物でない場合、ねじをいためる原因となります。
4. 小さすぎるねじには使用しないでください。ねじ頭の溝がつぶれる場合があります。
5. ドリルマーク()位置でねじ締めは行わないでください。ねじや相手材をいためるだけでなく、故障の原因となります。

1. 先端工具を本体に取り付けてください。(P15参照)
2. クラッチ目盛を「1」に合わせます。
3. 先端工具をねじ頭の溝にきちんとあて、スイッチ引き金を引きながら、先端工具がねじ頭の溝から外れない程度で押し付けてください。
4. ねじを締め付けていき、クラッチが作動したらスイッチ引き金を離してください。
5. ねじの締め付けが十分でない場合は、クラッチ調整ダイヤルを回して締付トルクを順に高くしながら、作業に応じたトルクに調整してください。

- 径の大きいねじを締め付けるときや加工物が硬い場合等は、先の下穴をあけることで作業効率のアップ、また加工物の割れを防ぐことができます。



作業方法

● 穴あけ

⚠ 警告

1. 穴あけ作業中、本体が振り回されることがあります。使用中は本体を確実に保持してください。確実に保持していないとけがの原因となります。
2. 回転中のドリル刃には絶対に手・顔等を近づけないでください。
3. 本製品は石材・コンクリート・タイル等の穴あけには使用できません。ドリル刃や加工物が破損するおそれがあります。

⚠ 注意

1. 先端工具は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
2. ドリル刃は加工物に合ったドリル刃(別売品)を使用してください。

● 金属などの穴あけ

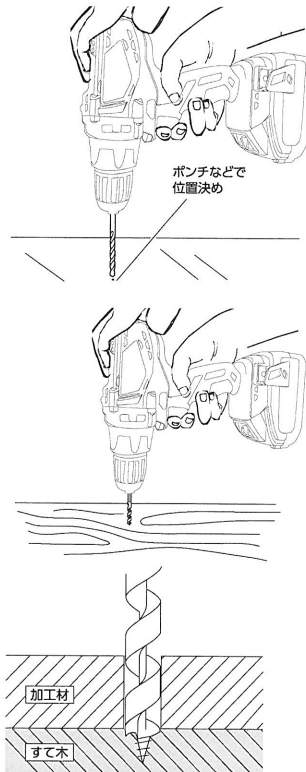
1. 鉄工用ドリル刃を本体に取り付けてください。(P15 参照)
2. クラッチ調整ダイヤルをドリルマーク(🔩)位置に合わせます。
3. ポンチなどで穴あけ位置にくぼみをつけ、そのくぼみにドリル刃の先端を軽くあてます。本体をまっすぐに保持したままスイッチ引き金を引き、軽く押しつけながら作業してください。
4. 金属への穴あけの場合、ドリル刃の先端に切削油をつけると作業がスムーズに行えます。

※ドリル刃・ポンチ・切削油等はセット内容に含まれておりません。

● 木材などの穴あけ

1. 木工用ドリル刃を本体に取り付けてください。(P15 参照)
2. クラッチ調整ダイヤルをドリルマーク(🔩)位置に合わせます。
3. ドリル刃の先端を穴あけ位置に軽くあて、本体をまっすぐに保持したままスイッチ引き金を引いてください。

※裏側に不要な材料(すて木)をあて、一緒に穴をあけると裏側もきれいに仕上がります。



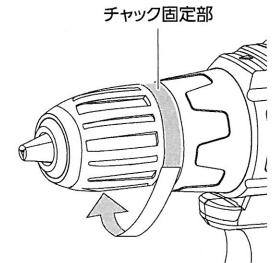
お手入れと保管

● キーレスチャックがゆるんだときは

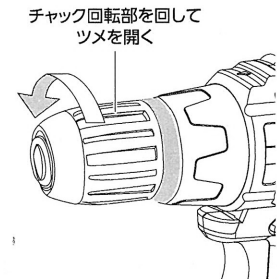
⚠ 注意

1. キーレスチャックは締付作業中にゆるむ場合があります。ゆるんだ場合は、下記の要領で締め直してください。
2. しっかりと締め直すことができない場合は、無理をせずお買上げの販売店に修理をお申しつけください。

1. 本体をしっかり保持して、チャック固定部を正面から見て右方向に突き当たるまで回して締め付けてください。

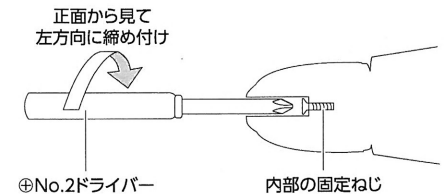


2. 先端工具の取り外しの要領でチャック回転部を回してチャックのツメを開いてください。



3. キーレスチャック内部の固定ねじを⊕No.2 ドライバーで正面から見て左方向に回して強く締め付けてください。

※⊕No.2ドライバーはセット内容に含まれておりません。



お手入れと保管

⚠ 警告

1. お手入れのときは、バッテリーパックを取り外してください。
2. 故障・異常時は直ちにスイッチを切って本製品の使用を中止し、お買上げの販売店にお申しつけください。

● バッテリーパック・充電器について

⚠ 注意

本体や充電器・バッテリーパックを、温度が50℃以上に上がる可能性がある場所(使用中の暖房器具の付近・車中・直射日光下)に放置・保管しないでください。(故障・バッテリーパック劣化の原因)

1. 長時間使用しない場合は、一旦使い切ってフル充電を行ってから保管してください。使い切った状態で保管すると、バッテリーの性能が低下する場合があります。直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した場所に保管してください。
2. バッテリーパックを保管・携帯する場合は、絶縁テープを端子部分に貼り付けてください。
3. フル充電を行っても能力が通常の半分以下になった場合は、バッテリーパックの寿命ですので、使用せず新しいバッテリーパックをお買い求めください。
4. バッテリーパックの寿命は、使用頻度・使用方法によって異なります。
5. フル充電したバッテリーパックを再度充電しないでください。バッテリーパックが過充電され、寿命を短くします。
6. 充電は10℃～35℃の範囲で行ってください。使用直後などの熱くなったバッテリーパックは、十分に冷やしてから充電してください。
7. 蓄電能力維持のため、3か月に1度はフル充電を行ってください。



本製品に使用している蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。不要になったバッテリーパックは、環境保護のため一般のごみと一緒に捨てずに、最寄のリサイクル協力店(リサイクル表示のある販売店)までお持ちください。



お手入れと保管

● 各種ねじの点検

各部取付ねじなどでゆるんでいる場所がないか定期的に点検してください。もし、ゆるんでいる場所があれば締め直してください。

● 先端工具の点検

先端工具は消耗品です。作業により変形・摩耗・劣化しますので定期的に先端工具を点検し、異常が見られた場合はすぐに交換してください。

● 本体・先端工具のお手入れ

1. 使用後は本体や先端工具の汚れやほこりをきれいに取り除いてください。
2. 本体のお手入れには、ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジン等は使用しないでください。(破損・故障の原因)
3. 汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。

● 保 管

⚠ 注意

保管するときは回転方向切替スイッチを中央位置にしスイッチ引き金を固定してください。

※使用しないときは、直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した・お子様の手の届かない安全な場所、又は鍵のかかる場所にきちんと保管してください。